

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等	
基本 施策	1【継承】 文化芸術資源の 継承	(1)文化財・伝統芸能等の 保存・継承の支援・活用 が図られたか。	①小峰城の石垣修復見学会の実施 回数・参加者数。南湖公園の利活 用の内容。	文化財課 都市計画課 まちづくり推進課 観光課	○小峰城史跡整備事業 帯曲輪西側の園路・園地整備を実施した。 ○小峰城跡石垣修復整備事業 水懸口北面石垣の積み上げに着手した。	○修復した石垣の見学 学校数：小学校14校 人 数：442人 ○小峰城史跡整備事業 帯曲輪北西部の園路・園地整備を実施した。 ○小峰城跡石垣修復整備事業 水懸口北面石垣の積み上げを完了し、矢之門跡石垣の解体を行った。 ○小峰城清水門復元整備事業 基本設計業務委託に着手し、また広く市民参加を募る小峰城一石城主 プロジェクトを立ち上げた。 ○旧小峰城太鼓櫓整備事業 老朽化の著しい旧小峰城太鼓櫓の保存を図るため、解体移築するにあ たり、解体調査を行うとともに、建築設計を実施した。 ○ふくしま緑の百景歩こう会 「南湖公園の赤松と城下町を歩くコース」 R2.10.17実施。参加者370名。 ○景観形成事業 【コロナ中止】日本大学工学部の先生による講義など予定。
		②伝統芸能を継承している団体へ の支援内容	文化財課	○無形民俗文化財等支援事業 内容：活動・道具修復の支援 令和元年度に祭礼・行事等を実施した団体に対し、財政的支援を実 施。 支援団体数：15団体 支援総額：400千円	○無形民俗文化財等支援事業 内容：活動・道具修復の支援 祭礼・行事等の実施状況の確認、支援を実施。 調査件数：16件 ※取りまとめた上で、R3年1月~3月に支援実施予定 ○白河市無形民俗文化財等支援事業補助金 内容：民俗芸能又は伝統行事に用いられる道具の倉庫建設・購入およ び道具修繕に要する経費を補助する。 申請件数：1件 補助額：90千円	
		(2)地域に残る文化芸術資 源が掘り起こされたか。	①調査等の今後の方向性。	文化財課	○美術・歴史・民俗資料調査 内容：所有者から白河に関わる資料についての連絡・相談を受け、 掛軸や古文書、民俗資料などの調査を行った。そのうち、所有者の意 向により下記のとおり寄贈・寄託を受けた。展示や調査研究などに より、文化資源として活用を図っていききたい。 寄贈 3件 約379点	○美術・歴史・民俗資料調査 内容：所有者から白河に関わる資料についての連絡・相談を受け、掛 軸や古文書、民俗資料などの調査を行った。そのうち、所有者の意向に より下記のとおり寄贈・寄託を受けた。展示や調査研究などにより、文 化資源として活用を図っていききたい。 寄贈 7件 約60点 ○狛犬巡りによる文化発信事業(狛犬ガイドパンフ作成) 内容：狛犬などの地域資源を後世に伝承すべき文化ととらえ、現代 アートの世界で注目を集めている小松美羽氏を起用し、冊子や映像等の メディアを活用して本市の文化的魅力を発信する。 狛犬の掲載数：76箇所 ~R3.3完了予定。パンフレット20,000部作成。

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等
基本 施策 2【共有】 本市特有の文化 芸術の共有	(1)地域文化を学ぶ機会が 創出されたか。	①公民館における歴史講座の実施 回数・参加者数。	公民館	○歴史関係講座 講座名：歴史講座「近世後期の白河藩」 回数：延べ1回 参加者数：30名	○歴史関係講座 講座名：歴史講座「中世の白河を学びなおす」、文化財教室「白河石と狢犬」ほか、わくわく地理教室「南湖公園について」ほか、リフレッシュ大人塾及び郷土の文化財 回数：延べ21回 参加者数：412名
		②戊辰戦争等に関する情報の発信 内容。	文化振興課 図書館 まちづくり推進課	該当事業なし	該当事業なし
		③市民歌の普及のための取組み内 容。	文化振興課	○音楽の祭典における取組み内容 ・R2.2.2開催 第2部「工藤重典フルート・リサイタル」にて、アーティストと市民合唱団の共演による合唱 参加者800名 【コロナ中止】(R2.3.11予定 第3部震災復興音楽祭：ゲストと市民合唱団の共演による合唱)	○音楽の祭典(詳細は5(1)①)における取組み内容 第1部市民音楽祭：来場者による全体合唱
		④資料館等における企画展示内 容。	文化財課	○小峰城歴史館における企画展示 ・当該期間中に企画展示の実施なし。次年度企画展の準備等を実施した。	○小峰城歴史館における企画展示 ・特別企画展「福島県立美術館の名画たちー関根正二と洋画・日本画の名品ー」 会期：9月12日～11月8日、入館者数：4,244人 内容：福島県立美術館(以下「県立美術館」)は毎年、館蔵コレクションを県内各地域で展示する「移動美術館事業」を実施している。令和2年度は、県立美術館の長期休館にあわせて、白河市および喜多方市の2市において、例年よりも規模を拡充して実施した。白河市における展覧会では、県立美術館の貴重なコレクションの中から、白河出身の洋画家・関根正二の作品を中心とした近代洋画、および日本画の名品などを展示した。
		⑤食文化の伝承事業の今後の方向 性。	文化振興課	該当事業なし	該当事業なし
	(2)学校等における郷土学 習の充実が図られたか。	①学校における史跡や文化財に関 する学習機会の内容。	学校教育課	○史跡や文化財に関する学習 ・ふるさと文化伝承館：小学校1校 ○白河の歴史文化再発見事業の内容 ・読み聞かせ：小学校1校 ・茶道体験(翠楽園)：小学校2校 ・茶道体験(茶道連盟)：小学校1校	○史跡や文化財に関する学習 ・小峰城：小学校14校 ・小峰城歴史館：小学校14校、中学校3校 ・中山義秀記念文学館：小学校13校 ・鈴木家住居：小学校6校 ・ふるさと文化伝承館：小学校3校 ○白河の歴史文化再発見事業の内容 小学校15校の成果を4回に分けてりぶらんロビーに掲示した。 小学1年生は昔遊び体験、2年生は読み聞かせ体験、3年生は表郷の「鈴木家住居」「ふるさと文化伝承館」見学、4年生は昔の暮らしや開拓などの学習、5年生は茶道体験、6年生は小峰城・小峰城歴史館を中心とした歴史探検や中山義秀記念文学館見学を行った。 中学生は、白河の古代・松平定信の業績、白河の戊辰について学んだ。また、中学3年生で小峰城歴史館見学を実施した。
		②資料館等を見学した学校数。	文化財課	○資料館・歴史館の見学 学校数：中学校 計7校 人 数：計499人	○資料館・歴史館の見学 学校数：小学校14校 中学校3校 計17校 人 数：571人

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等	
基本施策	3【整備】 文化芸術環境の整備	①コミネス・図書館・マイタウンの連携内容。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし	
			図書館	〇りぶらんの常設の展示コーナー(一般向け、児童向け等)定期的にテーマを設定し、関連資料を展示した。	〇りぶらんの常設の展示コーナー(一般向け、児童向け等)定期的にテーマを設定し、関連資料を展示、SNSで発信した。	
		(1)文化施設的环境が整備され、連携推進が図られたか。	③コミネス・東文化センター・公民館・マイタウンの施設整備内容。	文化振興課	該当事業なし	〇コミネスの施設整備(国庫補助+コロナ交付金)感染症対策としてサーモグラフィー、網戸を設置(～R3.3完了) 〇東文化センターの施設整備(国庫補助+コロナ交付金)感染症対策としてサーモグラフィーを設置し、シーリング室・楽屋・会議室の空調設備・トイレ・自動ドアを改修。この他、舞台設備を改修。(R3.3完了)
			(2)創造・創作環境が整備されたか。	①アートセンターの構想の今後の方向性。	文化振興課	検討に至っていない
	②蔵や空き店舗の利活用の今後の方向性。	まちづくり推進課 文化振興課		〇旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷貸館時間の延長を検討し、条例改正を行った(2年度より午前8時～午後8時に延長※条件あり)。	〇旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷令和3年度からの指定管理者制度導入に向けて、条例改正等の手続きを行った。 〇福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1).①と同じ) ・旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷での展示 小松美羽氏の立体作品「山犬様守護」3対のほか、千葉清藍氏の書、福井利佐氏の切絵作品	
	4【発信】 文化芸術情報の収集及び発信	(1)文化芸術情報が発信されたか。	①広報紙・コミネス通信の活用内容。	文化振興課	〇情報の発信 媒体：市やコミネスの広報紙、ホームページ 内容：イベント情報等の掲載	〇情報の発信 媒体：市やコミネスの広報紙、ホームページ 内容：イベント情報等の掲載
②観光等他分野との連携による情報の発信内容。			文化振興課 観光課	〇福島県春の観光プロモーション(東京競馬場)の内容 白河市公認キャラクターしらかわんが登場し、小峰城跡、南湖公園白河関跡や白河ラーメン、白河だるまなどをPRした。	〇福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1).①)と同じ ・ネット展示：HP、インスタグラム、フェイスブック アクセス数 総ユーザー数11,644、総ページビュー数54,724 〇9月13日ふくしまフェスタ(国見町あつかしの郷) 白河だるま、ご当地キャラグッズなどのPR、販売に努めた。 〇11月7・8日ふくしま県南観光推進協議会(S-PAL郡山) 本市の高校生が開発に携った、普段市内で扱っていない「ひよっ子プリン」をPRし販売した。	
	(1)文化芸術団体と連携した市民参加型事業の充実が図られたか。	①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸術大会の内容。	文化振興課 事業課	〇第23回しらかわ音楽の祭典 ・第2部「工藤重典フルート・リサイタル」にて、アーティストと市民合唱団の共演による合唱 参加者800名 R2.2.2開催 ・第3部震災復興音楽祭 【コロナ中止】(R2.3.11予定)	〇第24回しらかわ音楽の祭典 ・第1部市民音楽祭 月日：R2年11月7日(土)、場所：コミネス 参加者数：出演団体23団体700人、観客約1,500人 ・特別プログラム「白河市民オーケストラ」による チャコフスキー交響曲第5番 〇SNS活用文化活動推進業務委託事業 市民の文化活動に制限があるなか、市民に文化活動の発表の場を提供するため、無観客で行う音楽、演劇等の発表会を映像化し、SNS等で公開した。 ・しらかわ動画de発表会 10団体参加 ・オンライン白河市民芸術大会 11団体参加 〇第66回白河市総合美術展覧会 【コロナ中止】(R2.10予定) 〇第13回白河市民芸術大会 【コロナ中止】(R2.7予定) 〇ふるさと白河表郷まつり 【コロナ中止】(R2.11予定) 〇ふるさと川まつりinたいしん 【コロナ中止】(R2.8予定) 〇サンライズひがしフェスティバル 【コロナ中止】(R2.11予定)	

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等	
基本 施策	5【活動への支援】 文化芸術活動への支援	②公民館やマイタウンにおける文化祭・発表会の内容。	各公民館		○公民館文化祭・発表会 【コロナ中止】 第38回中央公民館習作展 第33回中央公民館発表会 第22回表郷芸能まつり 第64回表郷文化祭 第44回大信地域文化祭 第50回東総合文化祭(芸能) 第50回東総合文化祭(展示)	
		①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸能大会の内容。	文化振興課		○第24回しらかわ音楽の祭典(5.(1).①と同じ) ○第66回白河市総合美術展覧会 【コロナ中止】(R2.10予定) ○第13回白河市民芸能大会 【コロナ中止】(R2.7予定)	
		②活動分野が異なる団体間の交流機会の内容。	文化振興課	○文化団体連絡協議会への働きかけ 加盟団体に対して、会議等で加盟団体や文化祭行事の一覧を配布することにより交流機会創出を促した。	○文化団体連絡協議会への働きかけ 加盟団体に対して、会議等で加盟団体や文化祭行事の一覧を配布することにより交流機会創出を促した。	
		(2)文化芸術活動に対する多様な活動が支援されたか。	③補助金制度の紹介内容及び相談件数。	文化振興課	○福島県文化振興財団助成事業の紹介 内容：R2年度の助成事業について、広報紙へ掲載し相談対応を行った。 相談件数：3件(助成件数 1件)	○(市)文化振興補助事業の紹介 内容：広報紙への掲載、文化団体が参集する会議での紹介、窓口での相談対応を行った。 相談件数：2件(助成件数 1件) ○(市)市民文化活動支援事業補助金の創設 内容：感染症の影響を受けた市民の文化活動に対して、日頃の活動成果の発表会の会場費相当を助成する補助制度を創設し、広報紙やHPに掲載し、広く募集した。 相談件数：3件(助成件数 2件) ○(市)舞台芸術公演支援事業補助金の創設 内容：感染症の影響を受けた文化芸術活動への対策として、プロの演劇やコンサートの主催者に対して、会場使用料金相当を助成する事業を創設し、広報紙やHPで広く広報した。 相談件数：2件(助成件数 1件) ○(県財団)令和2年度新型コロナウイルス感染症対応助成事業の紹介 内容：広報紙への掲載、文化団体への通知、窓口等での相談対応を行った。 相談件数：3件(助成件数 3件)
		④団体主催事業の後援件数。	文化振興課	○市の後援承認 件数：5件(うち1件はコロナのため中止)	○市の後援承認 件数：7件	
		⑤専門人材の養成講座の実施内容。	コミネス	○コミネス人材育成事業 舞台芸術に関心のある市民層とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成講座を開催した。 舞台技術者養成講座1/15.29.2/14~16 のべ参加者数 50名	該当事業なし	
		⑥アウトリーチの実施内容。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし	

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名		評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等
基本 施策	6【育成】 文化芸術活動の 担い手の育成及 び確保	(1)文化芸術の担い手・後 継者等が育成されたか。	①若手芸術家等への活動機会の提 供内容。	コミネス 文化振興課	○コミネス事業における支援の内容 ・市内の演劇団体に対する上演活動支援	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1).①と同じ) 新興の若手芸術家から著名な芸術家まで多様な作品を展示
			②文化施設スタッフへの研修の実 施回数・参加者数。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし
			③各種事業や施設ボランティアの 人数。	文化振興課 コミネス	○市事業におけるボランティア 【コロナ中止】音楽の祭典第3部における高校生ボランティア  ○コミネス事業におけるボランティア 組織：コミネスカルチャークラブ 内容：公演事業1回 登録者数：21人	○市事業におけるボランティア 人数：音楽の祭典第1部における高校生 33人  ○コミネス事業におけるボランティア 組織：コミネスカルチャークラブ 内容：運営会議1回、メンバー募集 登録者数：21人
			④アートマネージャーやアート ファシリテーター等の養成の今後 の方向性。	文化振興課 コミネス	○コミネス事業における人材育成事業 舞台技術者養成講座：5回	該当事業なし
			⑤専門家を交えたプロデュース事 業や創造型事業の実施内容。	コミネス	該当事業なし	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1).①と同じ) 芸術監督に福島大学の渡辺晃一教授を迎えて、芸術祭全体をプロ デュースした。
			⑥共同制作事業の実施の今後の方 向性。	コミネス	○歌劇「ラ・トラヴィアータ」(椿姫)を開催 東京芸術劇場、金沢歌劇座との3館による共同制作オペラ コミネス混声合唱団が参加、入場者750人	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1).①と同じ) ヤノベケンジ氏とダルライザーの共同制作(AR作品)
			(2)芸術家等の情報が登録 され、連携が図られた か。	①本市ゆかりの芸術家等への活動 機会の提供内容。	コミネス	該当事業なし
基本 施策	7【子どもへの 支援】子どもの 文化芸術活動の	(1)優れた文化芸術の鑑賞 機会が拡充されたか。	①アウトリーチの実施内容。	コミネス 文化振興課	該当事業なし	○文化芸術による子供の育成事業の内容 主催：文化庁 内容： ①巡回公演事業 小中学校における一流の芸術家文化芸術団体による公演。 ②芸術家の派遣事業 小中学校における芸術家による講話、実技 披露、実技指導等。 実施場所：小中学校 実施校数： ①巡回公演事業 3校(演劇：四小、東北中 和太鼓：南中) ②芸術家の派遣事業 2校(音楽：一小、二小)
			②マタニティコンサートの実施の 今後の方向性。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし
			③親子で鑑賞できるプログラムの 実施回数。	コミネス	該当事業なし	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ・仙台フィル「子どもの夢コンサート」 入場者数：246人 ・北側駐車場を活用したドライブインシアター 入場台数：108台 ・カギガタエリアを活用した映画鑑賞 のべ入場者数：50人 ・【コロナ中止】劇団四季「人間になりたかった猫」R2.10予定
			④キッズシアター・舞台芸術鑑賞 授業の内容。	生涯学習スポーツ課 コミネス	該当事業なし	○キッズシアター(演劇教室) 【コロナ中止】R2.6月予定 ○舞台芸術鑑賞授業 【コロナ中止】R2.7月予定

令和2年（1～12月）の主な実績等

策	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度（1～3月）の主な実績等	令和2年度（12月末まで）の主な実績等
策	充実	(2)子どもの文化創造体験の充実が図られたか。	①アウトリーチの実施内容。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし
			②親子で体験できるプログラムの実施内容。	コミネス	該当事業なし	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ・仙台フィル演奏者への指揮者体験 体験者数：50人 ・カギガタエリアを活用したワークショップ（アクセサリ作成等）
			③文化芸術団体による学校文化部等への支援の内容。	文化振興課 コミネス	該当事業なし	○コミネス事業におけるプログラム内容 ・仙台フィル指揮者、演奏者による小学校器楽部演奏指導 参加校及び人数：1校30人
			④参加型キッズイベントの内容。	文化振興課	該当事業なし	○第2回芭蕉白河の関俳句賞（8.（1）.①と同じ） ・「ジュニアの部」の応募数：3,143句（2,008人） ・「当日投句会」ジュニアの部参加者数：3人
			⑤中山義秀記念作文コンクールへの応募者数。	中山義秀記念文学館	○第9回中山義秀記念作文コンクール 応募数：総数4,454点（市内全小中学校23校在籍4,720人）94% ・小学生の部3,005点（在籍3,044人）99% ・中学生の部1,449点（在籍1,676人）87% 受賞数： ・最優秀賞 小学低中高学年各1点、中学生1点 ・優秀賞 小学生低中高学年各3点、中学生6点 ・最優秀学校賞 小学校・中学校 各1校 ・学校賞 小学校3校、中学校2校 ・佳作 小学低中高学年各6点、中学生12点	○第10回中山義秀記念作文コンクール 作品応募の事前準備期間 ⇒1月15日応募締切、1月19日審査会、2月18日表彰式

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等	
基本施策	8【創出】 文化芸術創造の 機会の創出	(1)全国へ発信できる新たな文化芸術プログラムが構築されたか。	①専門家を交えたプロデュース事業や創造型事業の実施内容。	コミネス 文化振興課	該当事業なし	○第2回芭蕉白河の関俳句賞 内容：「源義経の伝説」を題材とするほか、海外特別賞を設け、「みちのく」をテーマに海外からも俳句を募集した。地域の文化的な資源を再認識する機会とするともに、歴史、史跡を中心とした白河の魅力を全国にPRし、交流人口、関係人口の拡大に努めた。 応募者数：一般354人 991句(うち海外分56人 157句) ジュニア(小中学生)2,008人 3,143句 計2,362人 4,134句 選者：『雲取』主宰 鈴木太郎、『橘』主宰 佐怒賀直美 現代俳句協会青年部長 神野紗希  ○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」 「祈り」をテーマに、ダルマや狛犬といった地域に残る文化資源をモチーフとした現代アート作品を、まちなかで展示すると同時に、コロナ対応として、SNSなどのネット上での展示に力を入れ、映像作品の制作などに取り組んだ。新興若手作家から著名な作家まで、また一般のアマチュア作品の展示を行い、プロと市内の芸術家とのコラボレーション作品の制作にも取り組んだ。 ・芸術監督 福島大学教授 渡辺晃一氏 ・展示場所：本町商店街、旧脇本陣蔵座敷、小峰城、常宣寺、龍興寺、マイタウン白河 ・ネット展示：HP、インスタグラム、フェイスブック アクセス数 総ユーザー数11,644、総ページビュー数54,724 ・参加アーティスト：ヤノベケンジ、小松美羽、金子富之、福井利佐岩根愛、岡村圭三郎ほか ・映像作品：ヤノベケンジ氏とダルライザーのAR(拡張現実)コラボ作品「コマライザー」 ・ワークショップ：切絵作家福井利佐氏による市内高校生への切絵教室を開催し、作品を街灯フラッグとして本町商店街に展示
			②共同制作事業の実施の今後の方向性。	コミネス	○歌劇「ラ・トラヴィアータ」(椿姫)を開催(6(1)⑥と同じ) 東京芸術劇場、金沢歌劇座との3館による共同制作オペラ コミネス混声合唱団が参加、入場者750人	
		(2)文化施設を拠点とした事業の創造が支援されたか。	①専門人材の養成講座の開設やアウトリーチの実施の内容。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし
9【交流】 国内外との交 流、連携	(1)国内外の都市間交流の 推進が図られたか。	①姉妹都市・友好都市との文化交流内容。	企画政策課 秘書広報課 文化振興課	○国際交流協会事業 【コロナ中止】 ・中学生国際交流事業「コンピエーニュ市派遣事業」 参加予定者数：市内中学2年生 18人 ※説明会・研修会を開催し準備を進めていたが派遣中止。  ○大田原市との文化交流協定 【コロナ中止】	○国際交流協会事業 ・英会話講座の開催(全5回) 日程：令和2年12月~令和3年2月予定 参加者数：第1回及び第2回 各12人 ○友好都市等との交流(桑名市・行田市) 【コロナ中止】(白河提灯祭りでの交流) ○大田原市との文化交流協定 【コロナ中止】(R元.5.24協定締結。両市の文化振興と地域経済の発展を図る。)	
		②「beyond2020プログラム」認証事業の件数。	コミネス	該当事業なし	該当事業なし	
		③創造都市ネットワーク日本(CNJ)加盟都市との連携内容。	文化振興課	○創造都市ネットワーク日本加盟都市との連携内容 機関紙への本市関係記事の掲載	○創造都市ネットワーク日本加盟都市との連携内容 機関紙への本市関係記事の掲載	

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等
基本施策 10【活用】 文化芸術の力の活用		④インターネットやSNSを活用した文化芸術情報の発信内容。	文化振興課 コミネス	○コミネスにおける文化芸術情報発信事業 ・フェイスブックへの事業紹介投稿 ・ホームページによる事業告知 ・チケット販売システムとの連動	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8.(1)①と同じ) ・ネット展示：ホームページ、インスタグラム、フェイスブック アクセス数 総ユーザー数11,644、総ページビュー数54,724  ○コミネスにおける文化芸術情報発信事業 ・フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを活用した事業紹介投稿 ・ホームページによる事業告知 ・チケット販売システムとの連動
	(1)文化芸術によりまちづくりが図られたか。	①白河いきいき健康マイレージ事業との連携内容。	健康増進課	○文化施設との連携内容 コミネスを「白河いきいき健康マイレージ事業ポイント利用施設」に指定し、自主事業のチケット代金を適用することで、相互の利用促進を図った。(3月末までの利用はなし)	○文化施設との連携内容 コミネスを「白河いきいき健康マイレージ事業ポイント利用施設」に指定し、自主事業のチケット代金を適用することで、相互の利用促進を図った。(12月末までの利用はなし)
		②まちなか文化イベント・戊辰の周年事業・プロジェクションマッピングの内容。	文化振興課 観光課 図書館 コミネス	該当事業なし	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(8(1)①と同じ) ・まちなか(本町商店街など)に現代アート作品を展示 ○まちかど・家庭美術館事業 家庭や商店などの壁面に絵画を飾り、文化芸術の醸成を図るため、図書館で収集した複製絵画を展示し、市内4館で貸し出しを行った。 絵画点数：163点 貸出件数：1,461件 ○「白河まちなか音楽3Days2020」 一流のアーティストによるクラシック、JAZZ、邦楽を教会、寺院、歴史的建造物等で演奏会を開催 のべ入場数：360人
		③障がい者の舞台芸術・アート展の実施の今後の方向性。	文化振興課	該当事業なし	該当事業なし
	(2)文化芸術により心のケアが図られたか。	①音楽の祭典第3部・文化庁補助事業の内容。	文化振興課 コミネス	○音楽の祭典第3部 【コロナ中止】(R2.3.11予定 第9回復興音楽祭)  ○文化庁補助事業の内容 「ラ・トラヴィアータ」の内容(6(1)⑥と同じ) 東京芸術劇場、金沢歌劇座との3館による共同制作オペラ コミネス混声合唱団が参加、入場者750人	該当事業なし

令和2年(1~12月)の主な実績等

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	令和元年度(1~3月)の主な実績等	令和2年度(12月末まで)の主な実績等	
重点施策	1 文化芸術に親しんでいる市民への支援の充実	文化芸術活動を行っている個人や団体への支援の充実が図られたか。	①文化施設自主事業・音楽の祭典第2部の内容。	文化振興課 コミネス	○音楽の祭典第2部(5(1)①と同じ。) ・R2.2.2開催「工藤重典フルート・リサイタル」にて、アーティストと市民合唱団の共演による合唱 参加者800名  ○コミネス自主事業の内容 ・コミネス混声合唱団を対象とした活動支援(4回の音楽指導者の派遣、施設の無償貸与) ・しらかわ演劇塾の上演活動費用の補助(公演時の設備使用料等)	○コミネス自主事業の内容 ・コミネス混声合唱団を対象とした活動支援(18回の音楽指導者の派遣、施設の無償貸与) ・しらかわ演劇塾の上演活動費用の補助(公演時の設備使用料等)
			②音楽の祭典・東音楽フェスティバル・市民芸能大会・美術展覧会の内容。	文化振興課	○東音楽フェスティバル ・R2.2.2開催 弦楽合奏団、中学校吹奏楽部、消防音楽隊など地域の5団体が参加 観客120名	○音楽の祭典(5(1)①と同じ。) ・第1部市民音楽祭 月日:R2年11月7日(土)、場所:コミネス 参加者数:出演団体23団体700人、観客約1,500人 ・特別プログラム「白河市民オーケストラ」によるチャコフスキー交響曲第5番 ○市民芸能大会(5(1)①と同じ。) <b>【コロナ中止】</b> ○美術展覧会(5(1)①と同じ。) <b>【コロナ中止】</b>
			③鑑賞の仕方・態度を学ぶ事業の今後の方向性。	文化振興課	○啓発活動 2年2月2日(日)開催の音楽の祭典第2部で、来場者に「知っとくマナー」(鑑賞マナー周知チラシ)を配布。	該当事業なし
	2 文化芸術による新たなライフスタイルの創出	ライフスタイルに文化芸術を取り入れることができるよう、文化芸術活動への興味・関心の喚起が図られたか。	①音楽の祭典・東音楽フェスティバル・わーくわくキッズカルチャースクール等の内容。	文化振興課	○東音楽フェスティバル(重点1②と同じ。)	○音楽の祭典(5(1)①と同じ。) ○第2回芭蕉白河の関俳句賞 ・俳句教室の実施(初心者教室・中級者教室)全4回 各回25名受講 ※第2回で吟行(史跡めぐりでの俳句創作)の実施(R2.9)
			②まちなか音楽祭の実施の今後の方向性。	コミネス	該当事業なし	○「白河まちなか音楽3Days2020」(10(1)②と同じ) 一流のアーティストによるクラシック、JAZZ、邦楽を教会、寺院、歴史的建造物等で演奏会を開催 のべ入場数:360人
	3 本市オリジナルな活動団体の組織	市民主役の活動団体を組織し、活動の場が創出されたか。	①市民オーケストラの設立の今後の方向性。	文化振興課	○白河市民オーケストラ設立準備事業 関係者による打合せを行い、R2年度のプレオケ組織の発足、音楽の祭典第1部で演奏することを目標に準備を行った。	○白河市民オーケストラ(仮称)の発足 R2.4月より団員を募集し、6月下旬に発足式を行った。コロナの影響を受けながらも、毎月2回程度の練習会を開催し、11/7しらかわ音楽の祭典にて特別プログラムとして、チャイコフスキー交響曲第5番の演奏を行った。参加者は市内外から約90名が参加した。
			②市民による第九コンサートの内容。	文化振興課	該当事業なし	該当事業なし
			③白河文化芸術アカデミー(仮称)の設立の今後の方向性。	文化振興課	該当事業なし	該当事業なし
	4 文化芸術を活用したまちづくり	文化芸術を鑑賞・体験・創造することのできる機会が創出されたか。	①まちなかアートフェスティバル・空き店舗や寺院を活用した事業など、まちの活性化につながる事業の実施と今後の方向性。	文化振興課 まちづくり推進課 コミネス	該当事業なし	○福島ビエンナーレ2020「風月の芸術祭in白河」(4(1)②と同じ) 「祈り」をテーマに、ダルマや狛犬といった地域に残る文化資源をモチーフとした現代アート作品を、まちなかで展示すると同時に、コロナ対応として、SNSなどのネット上での展示に力を入れ、映像作品の制作などに取り組んだ。新興若手作家から著名な作家まで、また一般のアマチュア作品の展示を行い、プロと市内の芸術家とのコラボレーション作品の制作にも取り組んだ。 ・展示場所:本町商店街、旧脇本陣蔵座敷、小峰城、常宣寺、龍興寺、マイタウン白河 ・ワークショップ:切絵作家福井利佐氏による市内高校生への切絵教室を開催し、作品を街灯フラッグとして本町商店街に展示  ○「白河まちなか音楽3Days2020」(10(1)②と同じ) ○街なか定期座禅会 <b>【コロナ中止】</b>